

研究タイトル：
崩壊過程における原子核構造の寄与と観測量との対応


氏名：	菊地 右馬 / KIKUCHI, Yuma	E-mail：	kikuchi@tokuyama.ac.jp
-----	-----------------------	---------	------------------------

職名：	准教授	学位：	博士(理学)
-----	-----	-----	--------

所属学会・協会：	日本物理学会
----------	--------

キーワード：	中性子過剰核、分解反応、原子核物理学
--------	--------------------

技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
-----------------	---

研究内容：
研究テーマ：

- ・中性子過剰核の分解反応、ノックアウト反応
- ・複素座標スケールリング法を用いた多体量子散乱状態の記述

概要：

中性子過剰な原子核の性質は元素合成や中性子星の性質など物質の起源や天体現象と密接に結びついています。しかしながら、中性子が多くなるに従って原子核は不安定となり、その寿命は非常に短くなるため、実験室で直接その構造や性質を調べるのが困難です。それらの性質を理解するためには、中性子過剰核を加速器で加速し、散乱実験を行う必要があります。ここでは特に散乱されて多体分解した粒子の測定結果から、分解前の原子核の構造がどのような構造を持っているかを研究しています。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	